

三 芳 町

橋 梁 長 寿 命 化 修 繕 計 画

令和7年1月

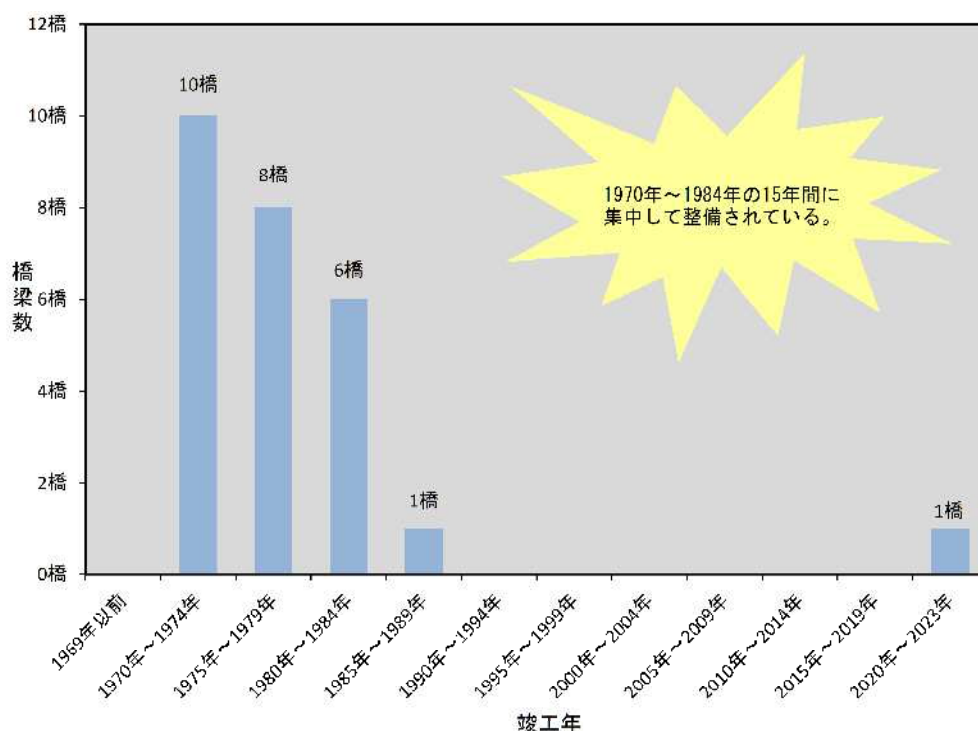


三芳町 道路交通課

橋梁長寿命化修繕計画の背景・目的

修繕計画の背景

- ◆三芳町にはインフラ施設として**全 26 橋**の橋梁があります。
これらの多くは 1970 年～1984 年の 15 年間に集中して整備されたもので、このまま放置しておくと将来的に老朽化に伴う損傷が増加して架替えを迎える橋梁が急激に増える事が予想され、今後これらに対する維持・修繕・架替え等に多くの費用を必要とすることが懸念されます。
- ◆そこで、三芳町では平成 26 年度より「**橋梁長寿命化修繕計画**」を策定することで、より計画的、効率的に橋梁の維持管理を行い、維持・修繕・架替えに係わる費用を縮減し、合理的な維持管理の実現を目指してきました。
- ◆今後も引き続き効率的な維持管理の継続のために**修繕計画の更新**を行います。



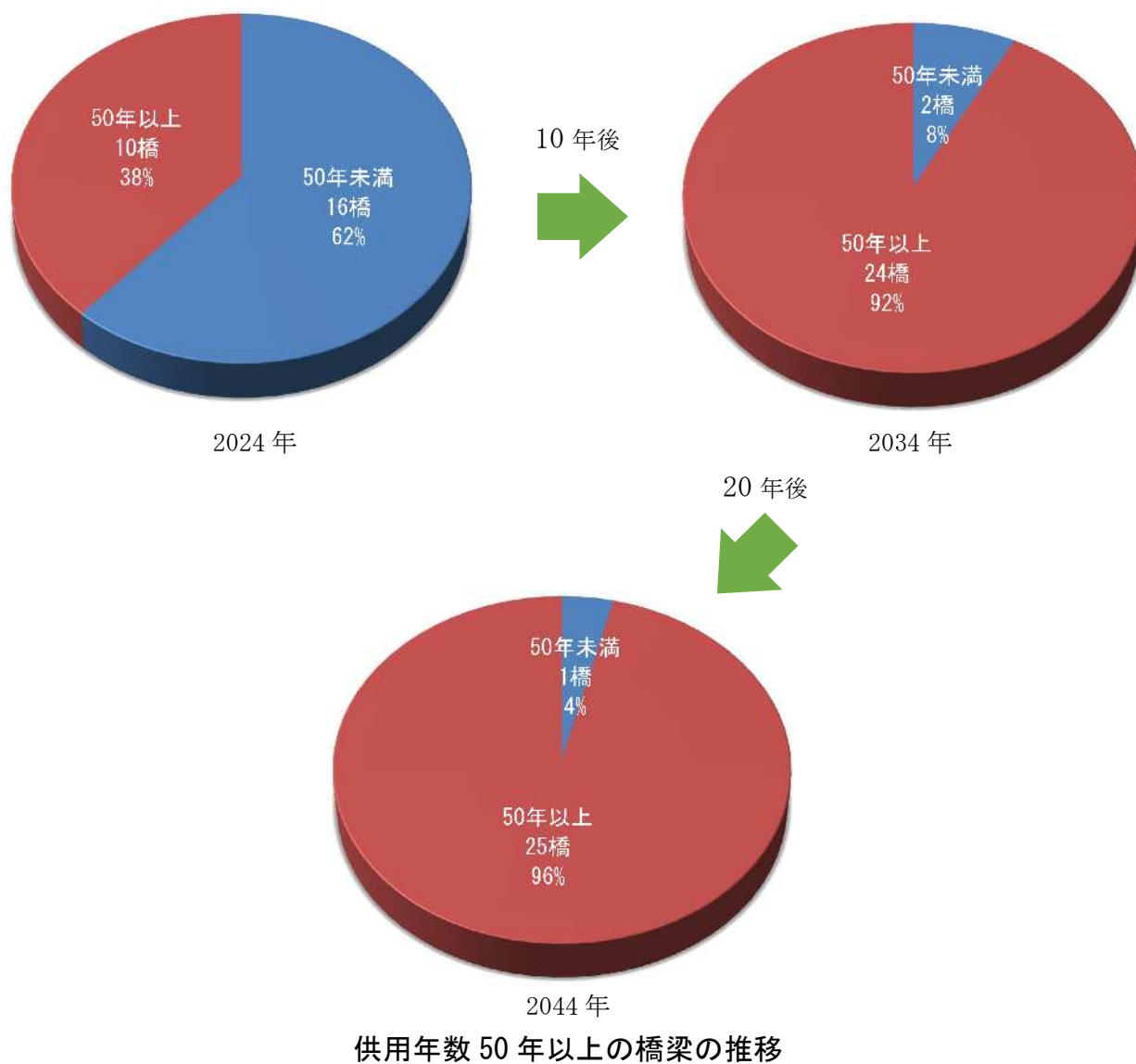
長寿命化修繕計画対象橋梁の竣工年分布

管理橋梁数及び長寿命化修繕計画対象橋梁

	1 級町道	2 級町道	その他町道	合 計
全管理橋梁数	3 橋	8 橋	15 橋	26 橋
うちこれまでの計画策定橋梁数	3 橋	7 橋	15 橋	25 橋
うち令和 6 年度計画策定橋梁数	3 橋	8 橋	15 橋	26 橋

修繕計画の目的

- ◆ 橋梁長寿命化修繕計画の対象である 26 橋のうち、10 年後には 24 橋（全体の 92%）が完成から 50 年を経過する高齢化橋梁となり、急速に高齢化橋梁が増加します。
- ◆ 高齢化に伴う老朽化が進行し、大規模な補修および架替えが必要になり、莫大な費用がかかることが予想されます。
- ◆ このような背景から、予防保全型（損傷が小さいうちから計画的に補修を行い、橋梁を長持ちさせる管理手法）による管理を行うことで、橋梁の長寿命化および維持管理にかかるコストの縮減を図ります。



修繕計画の実施状況

◆平成 31 年度からの修繕計画実施状況の一例は以下の通りです。

点検事例



梯子による点検(東永橋)



橋梁点検車による点検(永久保六橋)



リフト車による点検(中東四号橋)

補修事例



床版の補修、塗装の塗替え(東永橋)

橋梁長寿命化修繕計画の基本方針

老朽化対策における基本方針

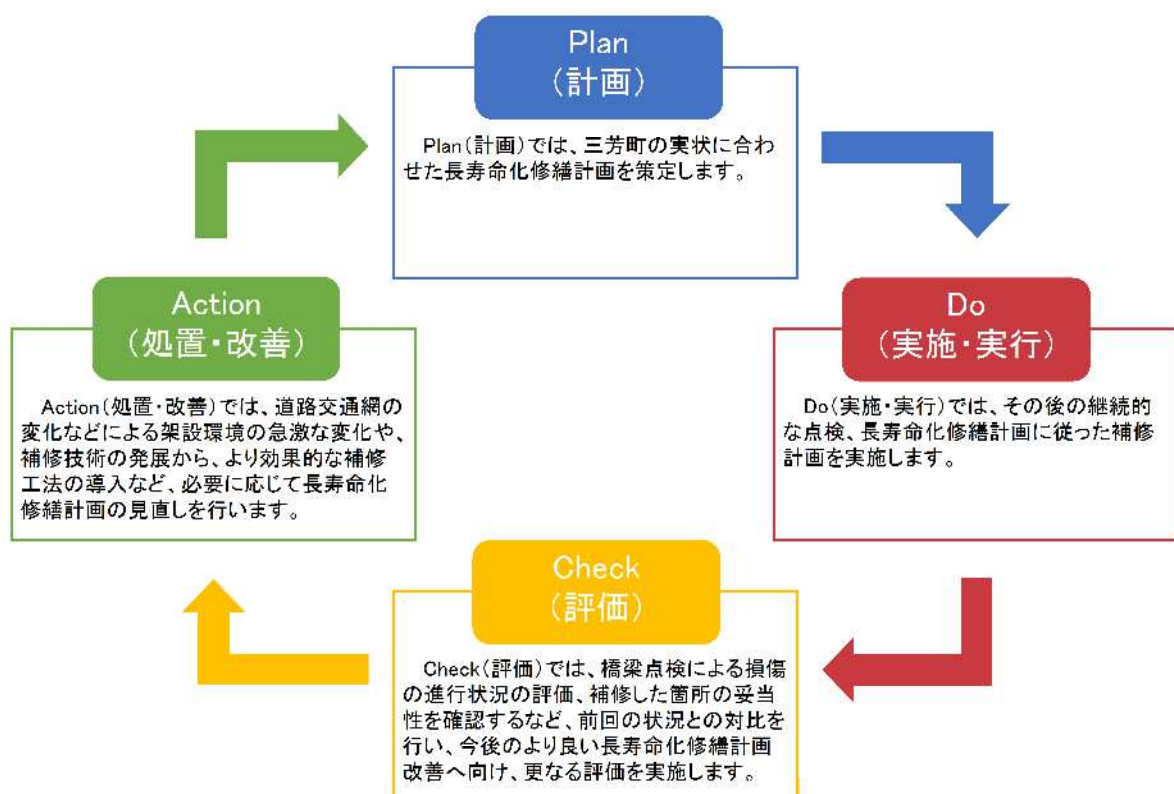
- ◆一般的には、下表に示す4種の管理シナリオがあります。
- ◆橋梁長寿命化修繕計画の基本方針として、三芳町の実状を考慮した管理シナリオを設定し、適切な維持管理を行います。
- ◆三芳町における橋梁の架設状況及び橋梁点検結果の分析から検討を加え、定期的な橋梁の点検と早めの補修の繰り返しによって、橋梁を長持ちさせる「予防保全型」で維持管理を行っていきます。

各管理シナリオについて

管理シナリオ	維持管理内容
予防保全型	補修の繰り返しによる延命で将来のコストが安価と考えられる維持管理シナリオ。
事後保全型	定期的な点検により確認された損傷を必要に応じて修繕する維持管理シナリオ
更新型	補修による機能回復が困難な橋梁について架替を前提とした維持管理シナリオ。 ※都市計画及び改修計画等の影響による架替えも含む。
集約・再編型	将来の維持管理・更新費の抑制のために集約・撤去、機能縮小を実施する維持管理シナリオ。

今後の管理方法

- ◆PDCAサイクルを導入し、継続的に橋梁長寿命化対策を実施します。
- ◆修繕計画は10年間で策定し、定期点検の結果を踏まえ、5年毎に見直しを行います。



新技術等の活用方針

- ◆今後の修繕工事等の実施では、「NETIS（新技術情報提供システム）」における新工法や新材料の活用、定期点検・調査では「点検支援技術性能カタログ」等における**新技術の活用**を図り、**事業の効率化やコスト縮減**に取り組みます。



集約化・撤去の方針

- ◆橋梁の利用状況や周辺道路の整備状況等を鑑み、管理橋梁の集約化・撤去について検討した結果、現時点では**今後 10 年間で集約化・撤去を行う橋梁はありません**が、引き続き定期点検の結果に基づき、修繕もしくは集約化・撤去の検討を行っていきます。

費用の縮減に関する具体的な方針

- ◆三芳町が管理する橋梁の中で、令和 6 年現在、架設後 40 年以上の橋梁は全体の約 92% を占めており、将来、これらの橋梁の老朽化が進行した場合、大規模な補修や架替えの時期を迎えることが予想されます。これを踏まえ、今後の橋梁長寿命化修繕計画では、**計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り**、前述した新技術等の活用方針、集約化・撤去の方針に従い、**修繕に要するコストの縮減**に努めます。
- 費用の縮減に関する具体的な方針として、今後 10 年の補修工事に対し「NETIS（新技術情報提供システム）」における新技術を活用することで、**修繕費用を 30%（約 3.5 百万円）程度縮減**することを目標とします。

今後 10 年間で予定している事業計画

◆点検により診断した健全性に加え、橋梁の利用状況や橋梁下の交差物といった橋梁が持つ重要度の要素を加味したうえで総合的に検討し、事業計画の立案を行いました。

◆今後 10 年間で予定している点検および修繕の実施予定は以下の通りです。

No.	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	直近に おける 点検結果	点検および修繕の時期（今後10年間）									
						2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
1	東草橋	幹線20号線	44.20	1970	Ⅲ	●	○	●	●			○			
2	吉拓歩道橋	上富201号線	40.90	1970	Ⅲ	●	○	●	●			○			
3	川村橋	上富180号線	45.90	1970	Ⅱ		○				●	○			
4	中東1号橋	幹線18号線	36.30	1971	Ⅱ		○				●	○			
5	中東2号橋	上富146号線	36.50	1971	Ⅱ		○					○	●		
6	中東3号橋	上富143号線	37.16	1971	Ⅱ		○					○	●		
7	中東4号橋	上富134号線	38.26	1971	Ⅰ		○					○			
8	中東5号橋	上富124号線	40.30	1971	Ⅰ		○					○			
9	東永久保1号橋	幹線14号線	40.80	1971	Ⅲ	●	○	●	●			○			
10	東永久保1号橋(BOX)	幹線14号線	9.56	1971	Ⅱ	●	○	●	●			○			
11	東永久保1号橋(歩道橋)	幹線14号線	41.50	2022	-		○					○			
12	永代橋	幹線4号線	18.34	1981	Ⅰ				○					○	
13	永代二橋	北永井7号線	15.10	1982	Ⅰ				○					○	
14	永代三橋	北永井6号線	15.10	1982	Ⅰ				○					○	
15	坂下橋	幹線3号線	15.25	1982	Ⅰ				○					○	
16	東永三橋	上富69号線	18.00	1988	Ⅰ				○					○	
17	東永二橋	幹線13号線	23.20	1978	Ⅱ				○					○	
18	東永橋	幹線11号線	14.00	1977	Ⅰ				○					○	
19	永久保一橋	上富36号線	15.20	1978	Ⅰ				○					○	
20	永久保二橋	上富35号線	15.20	1978	Ⅰ				○					○	
21	永久保三橋	幹線10号線	15.48	1978	Ⅰ				○					○	
22	永久保四橋	上富33号線	15.20	1978	Ⅰ				○					○	
23	永久保五橋	上富31号線	15.50	1982	Ⅰ				○					○	
24	永久保六橋	上富27号線	15.30	1978	Ⅰ				○					○	
25	永久保七橋	上富25号線	15.20	1978	Ⅰ				○					○	
26	永久保境橋	幹線1号線	16.70	1982	Ⅱ				○					○	●

※川村橋・中東1号橋・中東2号橋・中東3号橋については、
東日本高速道路(株)との協議により変更となる場合もあります。

●：修繕時期
○：点検時期

問い合わせ先

三芳町 道路交通課

〒354-8555

埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100 番地 1

tel : 049-258-0019 (代表)